

高齡者・障害者歯科学

前期分

[講義] 第4学年 前後期 必修 1単位相当 2単

《担当者名》 教授/倉重 圭史 kura@ 特任教授/安彦 善裕 yoshi-ab@ 教授/吉田 充広 mh-yoshida@
 教授/飯田 貴俊 tiida@ 講師/吉本 裕代 koseki@
 助教/榊原 さや夏 sayanatu@ 助教/蓑輪 映里佳 minowa@ 助教/加藤 大生 katotaisei@
 非常勤講師/齊藤 正人 非常勤講師/関口 五郎 非常勤講師/長谷 剛志

【概要】

本科目は、心身障害者の定義、歯科的問題のほか、各論としては各種の心身障害とその特徴、歯科的問題、歯科的対応について学習する。

【学修目標】

- 障害の概念を説明する。
- 障害と歯科医療と関わりを説明する。
- 各種の障害の実態を踏まえた歯科的特徴を説明する。
- 障害者における歯科治療の実際について説明する。
- 障害者における口腔疾患の予防と管理について説明する。
- 障害者における行動調整法について説明する。
- 障害者における外来（日帰り）全身麻酔や精神鎮静法の適応を説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	障害者歯科総論 歯科医療におけるスペシャルニーズ 障害者歯科総論 スペシャルニーズと社会保障	<p>歯科医療におけるスペシャルニーズについて説明できる。(E-5-2)-)</p> <p>障害のある人のクオリティ・オブ・ライフとノーマライゼーションについて説明できる。(E-5-2)-)</p> <p>障害のある人の社会的および心理的問題について説明できる。(E-5-2)-)</p> <p>スペシャルニーズとリハビリテーションについて説明できる。(E-5-2)-)</p> <p>障害のある人の医療、福祉の仕組みについて説明できる。</p> <p>地域における障害者歯科について説明できる。</p> <p>障害者歯科とチーム医療の役割および関連職種について説明できる。</p> <p>地域の現状および障害者歯科と福祉の連携について説明できる。</p>	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志
2 3	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論1） 1. 精神発達・心理的発達と行動障害 知的発達障害 自閉スペクトラム症 注意欠如・多動症 限局性学習症	<p>知的発達障害の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p> <p>自閉スペクトラム症の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p> <p>注意欠如・多動症の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p> <p>限局性学習症の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p>	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志
4 5	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論2） 1. 神経・運動障害 運動障害の概要 脳性麻痺 重症心身障害児・者 筋ジストロフィー てんかん	<p>運動障害の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p> <p>脳性麻痺の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p> <p>重症心身障害児・者の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p> <p>筋ジストロフィーの概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p> <p>てんかんの概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)</p>	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論3） 1. 感覚障害 視覚障害 聴覚障害 平衡障害 味覚障害 心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論4） 1. 音声言語障害	感覚障害の概要と歯科的特徴について説明できる。（E-4-4）-（ ） 音声言語障害の概要と歯科的特徴について説明できる。（E-4-4）-（ ）	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志
7	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論5） 1. 精神障害とその分類 統合失調症 双極性障害とうつ病 不安障害と強迫症 心身症 認知症 摂食障害	精神障害とその分類の概要と歯科的特徴について説明できる。（E-4-4）-（ ）	安彦 善裕
8	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論6） 1. 歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群 内科的疾患（先天性心疾患） 症候群 難病	歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群の診察、評価、診断を説明できる。（E-4-4）-（ ）	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志
9	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論7） 1. 行動調整 コミュニケーション法 行動療法 薬物的行動調整 物理的な体動の調整法	心身障害者の行動調整心身症患者について説明できる。（E-4-4）-（ ）	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志
10	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論8） 1. スペシャルニーズのある人の健康支援 口腔ケア 予防法	スペシャルニーズのある人の健康支援について説明できる。（E-4-4）-（ ）	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志
11	障害者歯科における全身管理と行動調整	障害者の中で身体障害又は精神発達遅滞・精神障害・認知症・脳性マヒ、そして嘔吐反射が強いと、歯科治療に際し開口及び一定体位を維持できない。患者と患者保護者や関係者が安心・納得する、安全で質の高い愛護的な歯科医療を提供するために、本講義では障害者に対する全身麻酔法や麻酔科診療を学ぶ。行動抑制は吐瀉・窒息をひきおこすこともあり非愛護的であり患者の精神衛生上もよくない。患者の身体障害の程度、逃避行動や号泣の程度を見極めて、麻酔薬剤を用いた行動調整法である全身麻酔法・鎮静法の適応を学ぶ。（F-1-3）-（4）-（ ）、F-1-3）-（2）-（ ）	吉田 充広
12	外来全身麻酔法を適応した障害者歯科における患者管理	障がい者歯科における外来（日帰り）全身麻酔法下の周術期管理を学ぶ。すなわち、適応症の見極め、術前診査・検査、麻酔前投薬などの術前指示、全身麻酔方法（麻酔導入方法・気道及び呼吸管理・麻酔維持方法など）、術後鎮痛、そして麻酔薬の副作用に対する対処方法や注意点を学ぶ。なお、本講義では、障害者歯科患者リスクマネジメントについても考える。	吉本 裕代

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		(F-1-3)-(4)- 、 F-1-3)-(1)- 、 F-1-3)-(1)-)	
13	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応 (各論9) 1. スペシャルニーズのある人の歯科治療 医療面接 歯髄処置 歯冠修復 補綴的対応 顎顔面領域の外傷 歯列不正、先天異常への対応	スペシャルニーズのある人の歯科治療について説明できる。(E-4-4)-)	倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 齊藤 正人 関口 五郎 長谷 剛志
14	摂食嚥下障害とその対応 1. 摂食嚥下障害の概要 2. 発達期の摂食嚥下障害	摂食嚥下障害の概要と発達期の摂食嚥下障害の特徴および評価法について説明できる。(E-5-2)-	飯田 貴俊
15	摂食嚥下障害とその対応 1. 中途障害 (成人期以降) の摂食嚥下障害へのリハビリテーション 2. 誤嚥・窒息へのリスクマネージメント	発達期の摂食嚥下障害の対応法およびリスクマネージメントについて説明できる。(E-5-2)-	飯田 貴俊

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部 (研究科) 、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 (筆記試験) (100%)

【教科書】

「スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科」医歯薬出版
「スタンダード全身管理・歯科麻酔学」学建書院
「歯科麻酔学」第8版 (医歯薬出版)
その都度講義プリントを配布する。

【備考】

一部の講義においては、非常勤講師による講義に変更することがある。その場合は、講義内容を一部変更する。

【学修の準備】

指定された教科書の当該部分を事前に読んでおくこと。(60分)

当日学修した内容を復習すること。(60分)

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。

(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。

(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナルリズム、コミュニケーション能力)

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。

(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種 (保健、医療、福祉、介護) と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

(多職種連携能力)

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

(社会における医療の役割の理解)

【実務経験】

倉重 圭史 (歯科医師) 、安彦 善裕 (歯科医師) 、吉田 充広 (歯科医師) 、吉本 裕代 (歯科医師) 、榊原 さや夏 (歯科医師)

(2026年度・歯学部)

)、加藤 大生(歯科医師)、齊藤 正人(歯科医師)、関口 五郎(歯科医師)、飯田 貴俊(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

障害者歯科学とは、障害者がおかれている環境を理解し、障害者医療における社会的ニーズを踏まえ、地域社会および国際社会に貢献する科目である。多くの実務経験を背景とした経験談や症例を提示することで、優れた教育効果が期待できる内容となっている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している